

## 4. 市川市からのお知らせ

# 避難「指示」一本化、逃げ遅れを防止

災害時の「勧告」5月20日廃止

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	 <p>きんきゆうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b></p>	<p>災害発生情報 (発生を確認したときに発令)</p>
4	 <p>ひなんしじ <b>避難指示</b></p>	<p>・避難指示(緊急) ・避難勧告</p>
3	 <p>こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b></p>	<p>避難準備・ 高齢者等避難開始</p>
2	 <p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>
1	 <p>早期注意情報 (気象庁)</p>	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってははいけません!**

避難勧告は廃止されます。これからは、**警戒レベル4避難指示**で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる**高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

< 出典 > 内閣府 (防災担当)

## 相談窓口の設置について

コロナ禍における災害対応について、遠慮なくご連絡ください。

### 電話・FAX・メール・郵送でのお問い合わせ

危機管理室地域防災課 (平日9時~17時)  
〒272-0021 市川市八幡1-8-1 消防局4階  
☎ 047-704-0065 FAX:047-336-8046  
メール:chiiki-bosai@city.ichikawa.lg.jp

### 地域防災課への問い合わせフォーム

携帯電話(スマホ)や、パソコンで、ご意見やご要望を投稿することができます。

市川市 各課問い合わせ



次号は、災害時の情報収集についてお知らせします。

お問い合わせ:市川市危機管理室地域防災課 TEL047-704-0065

# 小学校区防災拠点

令和3年6月発行

# 協議会通信

第4号

## 1. 新型コロナウイルス感染症の状況について(令和3年6月25日現在)

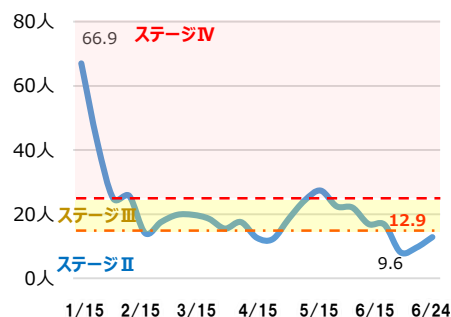
市川市の

**3**つの指標

市では、新型コロナウイルスの感染拡大や医療体制の状況を把握するため、①新たな感染者数、②治療中の方の数、③病床の占有率の3つの指標を設けています。

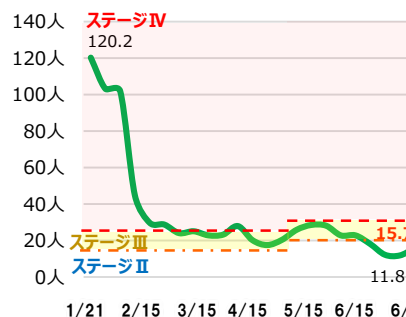
### ① 新たな感染者数

(市の人口10万人当たりの1週間感染者数)



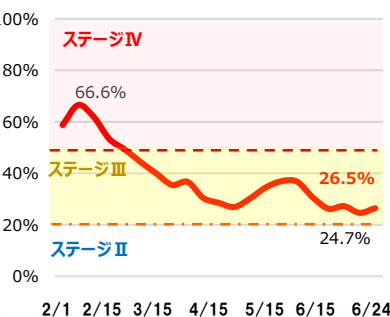
### ② 治療中の方の数

(市の人口10万人当たりの療養者数)



### ③ 病床の占有率

(県の最大確保病床の占有率)



<グラフから読み取れること>

- ① 新規感染者数は、前週に比べ増加していますが、引き続きステージIIに位置しています。
- ② 療養者数は、前週に比べ増加していますが、引き続きステージIIに位置しています。
- ③ 病床稼働率は、引き続きステージIIIの下位で推移しています。

本市の感染状況を示す指標(新規感染者数・療養者数)は、ステージIIに位置していますが、前週に続き増加している状況です。今後、変異株の流行や人流の活性化等の影響によっては、再び感染拡大の恐れがあるため、感染防止対策を徹底するとともに、感染終息のカギとなるワクチン接種に重点をおいた対策が必要となります。

## 2. 熊本地震から5年が経過しました。

平成28年4月14日と16日に発生した熊本地震では、気象庁の観測史上初めて2日間の内に同一観測点で震度7の地震が2回観測されました。また、避難生活が長期化したことによるストレスや車中泊によるエコノミークラス症候群により震災関連死が相次ぎました。ペットと避難した人の中には鳴き声など周囲へ気兼ねして車中泊を選択する人もいました。



倒壊した家屋  
出典: 熊本県宇土市(協定市)



避難所生活の様子  
出典: 熊本県宇土市(協定市)



車中泊やテント泊をする避難者  
出典: 熊本市 震災記録誌

### 3. 災害時のペットとの避難について

災害時のペット避難については、「同行避難」と「同伴避難」の2種類があります。避難所内で受け入れられるペットは、犬と猫のみです。ペットはケージに入れて飼育し、飼い主責任の下、各避難所でのルールを守って生活します。



<出典>環境省 人とペットの災害対策ガイドライン

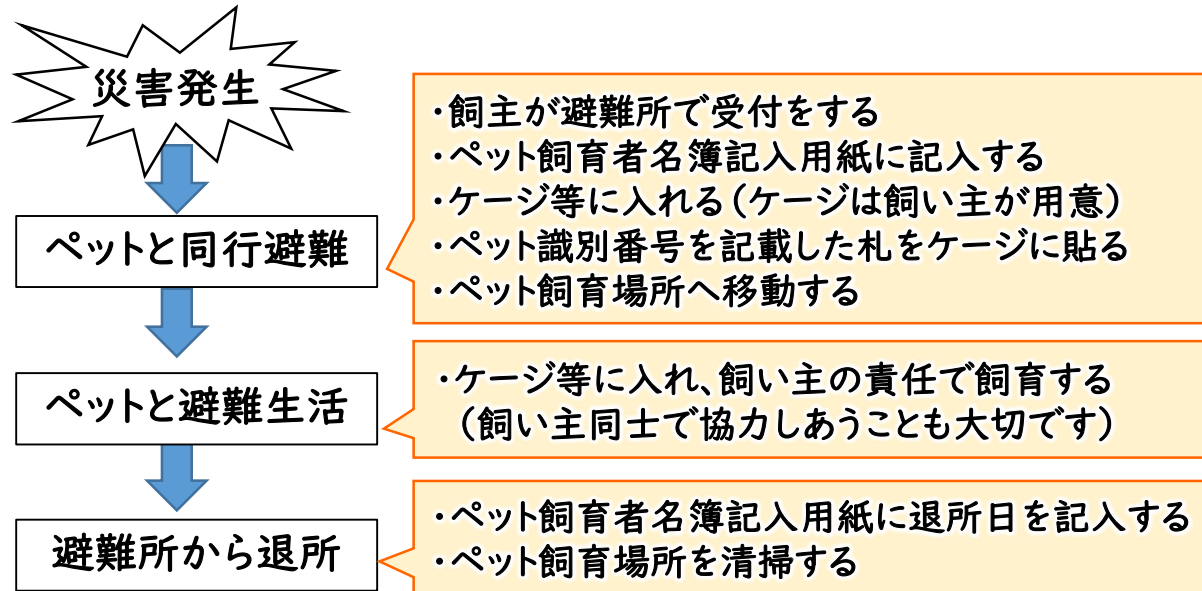
①、②東日本大震災でのペット避難の様子。③熊本地震におけるペット避難の様子。

#### (1) ペット同行避難

人とペットが避難所内で別の空間で過ごします。避難所には動物が苦手な人や動物アレルギーの人も避難してきます。このため、ペットと飼い主の導線も大切です。市では、全ての小中学校の避難所でペット同行避難が可能です。



#### 【ペット同行避難フロー図】



#### (2) ペット同伴避難

人とペットが避難所内の同じ空間で過ごすことができます。ペット同伴避難所については、災害の状況に応じて、お知らせします。



#### (3) ペット用備蓄品について

災害時にペットの避難に必要なものは、基本的には飼い主が用意します。避難する時にすぐに持ち出せるよう、日ごろから準備をすることが大切です。

##### ① 飼い主が最低限用意するもの

- ケージ・リード
- キャリーバッグ
- ペットフード
- 水
- ペットシート
- ペット用汚物処理袋
- 常備薬
- 首輪
- その他、個人で必要な物

##### ② ペットアイテムバンク

市では動物愛護活動の普及啓発を図ることを目的として、ご家庭で使用していないペット(犬・猫)用品を募集しています。いただいたペット用品は市に登録している地域猫活動団体や、ボランティアへの提供、動物愛護活動への支援、災害時のペット対策などに活用します。

##### 【募集しているペット用品】

- ドッグフード
- キャットフード
- トイレシート
- トイレ砂
- ケージ
- 首輪 など



#### (4) ペットのしつけや日頃の備え

災害時に人とペットが速やかに避難するためには、ペットのしつけや日頃の備えが大切です。

##### 【ペットのしつけの例】

- 待て、お座り、伏せ等をする
- ケージ等の中に入ることを嫌がらない
- 不必要に吠えない
- 人や他の動物を怖がったり攻撃的にならない
- 決められた場所で排泄ができる

##### 【日頃の備えの例】

- ケージ、キャリーバック、水、食料等、必要なものを準備しておく
- 一時預け先の確保
- ワクチンや予防接種などの健康管理

#### (5) 災害時にけがや病気をしたペットへの対応

市では市川浦安地域獣医師会と災害時支援協定を締結しています。獣医師会は、災害時にけがや病気をしたペットの治療を行います。昨年度は、獣医師会と協力し、ペット用医薬品を整備しました。また、市でもブルーシートやケージなど必要な備蓄物資を整備しています。